

いぶきまつもと

〒 899-2703 鹿児島市上谷口町3366-1

TEL 099-278-1312 FAX 099-278-3830



左の二次元コードから公民館だよりを閲覧できます。

前期講座がスタート！！楽しく活動しています

5月11日から前期講座が順調にスタートしました。希望者が多く、抽選となった講座もありました。後期講座も皆さんに興味を持っていただける講座を準備しています。多くの皆様のご応募をお待ちしています。前期講座の感想を掲載します。（残りの講座は次回以降に掲載します。）

パパママほっこりベビーマッサージ



和やかな雰囲気の中で楽しくマッサージができ、親と子ども同士のつながりができます。

親子読書とリズム運動



歌や運動を子どもが楽しみにしています。物作りも親子で楽しんで、友達もできました。

はじめようプランター菜園



枝豆や小松菜を種から育てるのが楽しみ。収穫して食べるのがもっと楽しみです。

レザークラフト入門



レザー作品作りに夢中です。財布やトラベルポーチを完成させたら、旅に出かけよう。

知ればもっと好きになる！！お茶のあれこれ



茶殻を使った料理やお菓子作り、工場見学や茶摘み体験など松元茶を楽しく学びました。

ワード・エクセル初級編



丁寧に教えてくださるので感謝です。次回まで覚えているかどうかそれが問題です。

職場体験学習



陶芸体験の様子

5月13日(水)～14日(木)の2日間松元中学校3年生5名が、職場体験学習を行いました。地域公民館の役割について学び、講座の見学、環境整備、図書室業務など多くの活動を体験しました。自主学習グループや講座の受講者から声をかけられて楽しそうに会話をしていました。中学生の皆さんにとってこの体験が、これからの人生に少しでも役に立つことを願っています。（5名の感想 一部抜粋）

- アサガオを植えて、草むしりをしました。環境整備は、公民館を気持ちよく利用してもらうために大切なことだと思いました。
- 図書室で本の貸出や返本、整架などの業務体験をしました。子どもから大人まで楽しむことができるように、書架や読書のスペースなどが工夫されていると感じました。
- 陶芸体験では、簡単そうに思ったけれどやってみると難しかったです。講師の先生にアドバイスをもらいながらコーヒーカップができました。焼き上がって手に取るのが楽しみです。
- 松元公民館は地域とのつながりが強いと感じました。地域の幼稚園や保育園の行事、町内会の話合いなどがあります。ここで地域の人がまなび・つどい・つながっていると思いました。
- 公民館には珍しくホールがあることや部屋の種類が豊富であること、ユニバーサルデザインを意識した環境づくりなど、これが松元公民館の強みだと思いました。私たちは3年生なので、これから受験勉強に公民館を利用したいと思います。2日間ありがとうございました。

第1回愛館作業のご協力に感謝

晴天の中、5月29日(金)に50名以上の方が参加して行われた愛館作業へのご協力に感謝申し上げます。お陰様で公民館の外周や駐車場周辺が見違えるようにきれいになりました。

草刈り機や剪定バリカンなどの道具を持ってきて作業していただいた方や草取りに取り組んでいただいた方、草を集めて一輪車で捨ててくださった方、皆さんで協力して作業していただいたので、1時間余りで終わりました。また、農村交流館の花井さんからふくれ菓子の差し入れもありました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

2回目は8月28日(金)に行う予定です。第2回へのご協力も宜しくをお願いします。



第1回公民館運営審議会(敬称略)

氏 名	選 出 領 域 等
◎ 田 實 澄 恵	社会教育関係者(石谷校区)
○ 五反田晴夫	学校教育関係者(松元中校長)
新 野田千佐子	社会教育関係者(石谷校区)
神園裕理香	社会教育関係者(松元校区)
上高原 充	家庭教育関係者(石谷校区)
川原 正一	学 識 経 験 者(東昌校区)
◎は会長、○は副会長	



6月9日(火)に標記の会が行われ、R8年度公民館経営や事業計画、諮問事項についてご意見を伺いました。

- 講座のネーミングが工夫されて面白い。また、地域の方が講師になっているのもいい。
- 講座の参加者を増やすために公民館だよりやSNSなどもっと情報発信を工夫したり、講座の内容や回数、募集期間を見直したりする必要がある。
- 図書室の利用が増えたのは、司書が毎月フोटスポットを入れ替えたり、1階の図書コーナーや講座の入口に関係図書を置いたりしているためである。また、図書室ボランティア「茶々の会」によるおはなしのじかんの影響も大きい。
- マラカスの会がR5から始まったが参加者が増え、保護者同士のつながりもできている。
- 自主学習グループは活動を継続的に活動していることが素晴らしい。愛館作業にも多く参加しているのは、公民館に愛着があるのだと思う。
- 公民館での運営に中高生がもっと関わることで将来の人材育成ができていくと思う。など委員の皆様から貴重なご意見をいただきました。これらを参考に、今後も全職員で「まなび・つどい・つながる」公民館運営に努めていきます。委員の皆様ありがとうございました。

今月の一枚



お母さんに身を寄せながら読み聞かせをしてもらっている子どもの『もじえ』感じのワンショットです。一冊読み終わると、「また読んで」ともっと身を寄せておねだりしていました。お母さんは優しいまなざしで、繰り返し読んでいました。お母さんが大好きでしょうがない子どもの様子が伝わってきました。また、お母さんの読み聞かせの上手なこと。また、図書室にきてくださいね！掲載のご協力に感謝です。